

「災害と医療～レジリエントな地域づくりとは」

趣旨

被災者の生命と健康を守り、「防ぎ得た死」を回避するためには、防災行政における医療の位置づけを高めることが不可欠である。それは、発災前（「災害への備え」）、発生直後でどこからの支援もない時期、災害超急性期、急性期以降、収束期・復興期に至るまで、いずれの段階も重要といえる。

本シンポジウムセッションでは、管下郡市医師会との連携体制の構築や救急医療情報センターの運営など、災害対策や地域包括ケア等の活動に積極的に取り組まれている愛知県医師会のご協力を得て、災害から地域包括ケア、地域医療を守り、復旧を果たしていくことについて、教育・介護等の様々な関係者の参画も得て、問題提起やその解決策について講義やディスカッションを行う。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組 2015－2030」（2015年3月「第3回国連防災世界会議」にて採択）を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で4回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。前回は東京ビッグサイト及び東京臨海広域防災公園で開催され、1万2千人の市民や防災関係者が参加した。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長（内閣総理大臣）が開催するもの。横倉会長が議員に就任している。

防災推進国民大会 2019 日本医師会セッション
「災害と医療～レジリエントな地域づくりとは」

日時：2019年10月19日（土）16時30分～18時

会場：名古屋コンベンションホール

センターエリア3F、301会議室

司会：細川 秀一 愛知県医師会理事

開会・主催者挨拶

パネリスト

- 石川 広己 日本医師会常任理事
- 野田 正治 愛知県医師会理事
- 伊藤 之一 愛知県医師会救急委員会委員長
- 土島 智幸 医療法人稲生会理事長（在宅医療）
- 調整中 地域保健・衛生行政関係者

ディスカッション

総括・閉会

主催：日本医師会

協力：愛知県医師会

大規模災害に備える - まなぶ、つながる、つよくなる -

防災を、もっと日常に

入場
無料

同時開催

あいち・なごや
防災フェスタ

ぼうさい こくたい 2019 @ N A G O Y A

10/19(土)

10:00-18:00
屋外展示は16時まで

20(日)

10:00-16:00

名古屋市ささしまライブエリア

(名古屋コンベンションホール・パークエリア・キャナルゲートエリア)

あおなみ線「ささしまライブ 駅」2階エントランス直結



